

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（青森県 平成25年度）

市町村名	事業実施主体名	メ ニュー ① (対象 作物・ 畜種等 名) ①	成果目標 の具体的 な内容①	事業実施後の状況①						メ ニュー ② (対象 作物・ 畜種等 名) ②	成果目標 の具体的 な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施 設区分、構 造、規格、 能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了 年月 日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時 (平成 21年)	1年後 (平成 23年)	2年後 (平成 24年)	3年後 (平成 25年)	目標値 (平成 25年)	達成率			計画時 (平成 21年)	1年後 (平成 23年)	2年後 (平成 24年)	3年後 (平成 25年)	目標値 (平成 25年)	達成率			交付金	都道府 県費	市町村 費	その他						
弘前市	つがる弘前農協	土地利用型作物(稲)	▼[水稲] ▼(環境保全) ▼環境保全型農業に取組む農業者の割合を増加	25.1%	51.2%	72.0%	73.1%	75.6%	95.0%	エコファーマー認定者数の割合が48.0ポイント増加し、目標を概ね達成した。 ・環境保全型農業取組農家数(弘前東部地区営農組合組合員)のうち販売農家数324名 ・施設受益者のうち販売農家数443名	土地利用型作物(大豆) ▼[大豆] ▼(生産性向上) ▼大豆単収の増加	158.3kg	138.0kg	168.9kg	95.6kg	174.2kg	-394.3%	平成25年9月15日～16日にかけて発生した台風18号による豪雨により、多くのほ場が浸水し、倒伏・汚損による刈取不能ほ場が発生したほか、長雨の影響により、一定の品質を確保するには高刈りせざるを得なかったため、単収が大幅に下落した。	乾燥調製施設 (1棟： 1,688㎡ 処理量： 生籾1,618t、大豆141t)	698,668,950	287,055,000			411,613,950	H23.9.9	環境保全型農業への誘導を図るため、稲作農家へのチラシによる周知を進めた結果、目標を概ね達成し、エコファーマー認定者が大幅に増加した。わずかに目標を達成できなかった要因は、施設の利用率が84%に留まっているため、エコファーマーへの誘導が徹底し切れていないためと考えられており、今後、施設有効性を訴えながら新規の利用者の開拓に努め、エコファーマー認定者の更なる増加を図る。また、大豆の栽培技術については、施肥同時播種などによる労働力の省力化、施設の早めの対応による早期刈取の実施による適期収穫の徹底などが図られるようになった。しかし、収穫時期の天候により作柄が左右されやすく、特に、平成25年は台風18号や26号による豪雨や収穫時期(10月中旬～11月中旬)の降雨日数が19日間もあったことなど、長雨の影響により単収が大きく落ち込んだ。このため、浅耕小畝立栽培により水はけを良くして雨の影響を少なくするといった気象条件の影響を受けにくく、安定生産が図られる技術の導入を進める。	施設の利用者については全員がエコファーマーに認定されるなど、ライスセンターを核とした環境保全型農業の取組が確実に浸透していると評価する。今後成果目標の達成に向けて、更に施設利用の有効性と環境保全型農業の必要性を農業者に訴え、エコファーマー認定者の増加を支援する。大豆については、天候による影響を最小限に抑えるため、排水対策の徹底と、湿害対策として小畦立て栽培技術の導入などが図られるようについて指導する。		

(青森県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成21年)	1年後 (平成23年)	2年後 (平成24年)	3年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率				計画時 (平成21年)	1年後 (平成23年)	2年後 (平成24年)	3年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
				弘前市 大鰐町	つがる弘前農協	環境保全(環境保全型農業)	▼[野菜] ▼(環境保全) ▼受益地域の堆肥の施用面積の割合を増加	37.7%	53.1%				56.3%	56.3%	100%	29.9%	堆肥施用面積割合が18.6㎡/ha増加したが、目標は達成されなかった。 ・受益地域の野菜作付面積のうち堆肥施用面積 9.4ha ・受益地域の野菜作付面積 16.7ha	▼[野菜] ▼(環境保全) ▼環境保全型農業に取り組む農業者の割合を増加				1.9%	26.7%	26.7%	26.7%				

